

(所感)

夜景サミット2018inマレーシアに参加して

長崎市議会議員 毎熊 政直

今回、「夜景サミット2018inマレーシア」に参加したが、思っていた以上にクアラルンプール市の大都市化が進んでいたことにまず驚き、この国の富裕層をいかに長崎へ観光やコンベンションで訪れていただくか様々な施策を練らなくてはならない時期に来ていると感じた。

夜景観光説明会においては、日本国内から足利市、札幌市、藤沢市、品川区、勝山市などそれぞれ夜景の価値や情報をプレゼンされたが、残念ながら長崎市のプレゼン用の写真スライドの見栄えが他都市より悪いと思った。せっかく世界新三大夜景認定や世界遺産認定が続いている今、多くの外国人観光客を長崎に来ていただくために現地のエージェントとの意見交換や人脈作りを具体的に進めるべきと強く感じた。

また、長崎の企業がクアラルンプールに進出するための企業向けセミナーや配信等をより多く展開すべきだとも感じた。  
シンガポールでも同様の印象を受けた。